

腹部超音波検査について

腹部超音波検査とは

超音波(人間の耳には聞こえない高い振動波)を腹部や骨盤の観察したい臓器に当ててその反響を利用して画像を作り出して何か異常が無いかを調べます。

検査中は痛みが無く放射線を使用していないため被ばくの問題もありません。

短時間で様々な臓器の情報をリアルタイムで得る事が出来るため有用な検査といえます。



※**当健診センターでは超音波検査を行い何か病変があった場合、当日 MRI にて精査をすることも可能**です。

(検査方法)

準備として検査着を上半身は胸の下まで捲り上げ、ズボンは腰骨あたりまで下げ腹部が観察できるようにします。

検査部位にゼリーをつけ、プローブという超音波を出す機械を当てながら検査を行います。検査中は必要に応じて呼吸や息止め、体位変換などのご協力をお願いしています。

検査時間は約 10 分～20 分程度

※**何か気になる事がある場合や検査中に痛みを感じた場合は遠慮なく申し出ていただくようお願い**します。

腹部超音波検査で分かる病気

肝臓、膵臓、腎臓、胆嚢、脾臓、骨盤内臓器など各臓器の腫瘍性の病変、脂肪肝、胆嚢ポリープ、胆石、腎嚢胞、腎結石、前立腺肥大、子宮筋腫など多くの情報を得る事が出来ます。

